

ことにより、がん患者・経験者の就労の支援を行います。

## 8 小児がん対策の充実

### <現状と課題>

- がんは小児においても病死原因の第1位ですが、成人のがんと比較すると希少で多種多様ながんがあり、小児がんを専門に扱う医療施設が限られていることなどから、小児のがん患者及びその家族が安心して適切な医療や支援を受けられるような対策が必要です。
- 国が指定する小児がん拠点病院（九州大学病院）を中心とした地域の医療機関との連携協力体制の構築が必要です。

### <今後の取組>

- 国が進めている小児がん医療・支援についての検討結果を踏まえながら、小児がん拠点病院と医療機関等との連携や小児がん医療と長期観察支援の取組等について検討します。

### <個別目標>

- 小児がん拠点病院を中心として、小児がん患者及びその家族が安心して適切な医療と長期観察支援を受けられるような取組を推進します。

#### 用語の説明

- 地域連携クリティカルパス(\*4)とは  
がん診療の地域における連携を円滑に行うため、病気の経過を予測して、標準化した適切な診療の計画をたて、診療連携の効率化や均質化を図るものです。このクリティカルパスは患者と医療者が共同で利用します。
- リニアック(\*5)とは  
放射線治療装置の一種であり、放射線のエネルギーが高いため、体の深部の治療を行うことができます。また、ある程度広い範囲に放射線を当てることができるうえ、正常な組織へのダメージも穏やかです。
- セカンドオピニオン(\*6)とは  
診断や治療方針等について、主治医以外の医師の意見を聞くことです。
- バーチャルスライド(\*7)とは  
病理医が病気を正確に診断するために、病理組織標本の顕微鏡画像をコンピューターに取り込み、モニターで閲覧することができるシステムのことをいいます。遠隔地においてもインターネットを通じて標本を閲覧することができます。
- BMI(\*8)とは  
体重 kg/(身長 m)<sup>2</sup> で算出される体格指数で、成人の肥満度を測定するための国際的な指標です。BMI=22 を標準、18.5 以下が「痩せ」、25 以上が「肥満」としています。